

令和 8（2026）年度長崎大学大学院多文化社会学研究科 博士前期課程入学試験の変更点について

令和 8（2026）年度長崎大学大学院多文化社会学研究科博士前期課程入学試験の変更点は、以下のとおりです。

1. 変更の概要

（1）【一般入試】

- ① 7 月期募集及び 2 月期募集において、TOEFL iBT®テスト、TOEFL ITP®テスト又は IELTS の成績証明書の提出を必須とします。
- ② 7 月期募集及び 2 月期募集において、筆記試験：語学科目（英語）を廃止し、TOEFL iBT®テスト、TOEFL ITP®テスト又は IELTS の成績を点数に換算します。

（2）【外国人留学生入試】

- ① 7 月期募集及び 2 月期募集の A 選抜において、日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書の提出を必須とします。
2 月期募集の B 選抜において、TOEFL iBT®テスト、TOEFL ITP®テスト又は IELTS の成績証明書の提出を必須とします。
- ② 7 月期募集及び 2 月期募集の A 選抜において、筆記試験：語学科目（日本語）を廃止し、日本語能力試験の成績を点数に換算します。
2 月期募集の B 選抜において、筆記試験：語学科目（英語）を廃止し、TOEFL iBT®テスト、TOEFL ITP®テスト又は IELTS の成績を点数に換算します。

2. 変更の詳細

（1）【一般入試】

- ① 7 月期募集及び 2 月期募集において、TOEFL iBT®テスト、TOEFL ITP®テスト又は IELTS の成績証明書の提出を必須とします。

< 令和 7（2025）年度 >

出 願 書 類 等	備 考
TOEFL iBT®テスト、 TOEFL ITP®テスト 又は IELTS の成績 証明書 〔6. 選抜方法の英語 民間試験のスコア レポート利用者のみ〕	出願時から過去2年以内に受験したものの原本に限る。複数の成績証明書を提出した場合は、点数の高い方を採用する。原本は試験終了後に返却する。 なお、成績証明書等の種類は下記のとおりである。 TOEFL iBT®テスト：Examinee Score Report 又は Test Taker Score Report ※Test Date スコアに限る。 ※TOEFL iBT® Special Home Edition のスコアレポートの利用を認める。 TOEFL ITP®テスト：TOEFL ITP Score Report ※TOEFL ITP® Plus for China のスコアレポートの利用を認める（Vericant® Video Speaking Interview は利用しない）。 IELTS：IELTS Test Report Form



< 令和 8 (2026) 年度 >

出 願 書 類 等	備 考
TOEFL iBT®テスト, TOEFL ITP®テスト 又は IELTS の成績 証明書 ※成績証明書の提出を必須とする	出願時から過去2年以内に受験したものの原本に限る。複数の成績証明書を提出した場合は、換算後の点数が高い方を採用する。原本は試験終了後に返却する。なお、成績証明書等の種類は下記のとおりである。 TOEFL iBT®テスト : Examinee Score Report 又は Test Taker Score Report ※Test Date スコアに限る。 ※TOEFL iBT® Special Home Edition のスコアレポートの利用を認める。 TOEFL ITP®テスト : TOEFL ITP Score Report ※TOEFL ITP® Plus for China のスコアレポートの利用を認める (Vericant® Video Speaking Interview は利用しない) 。 IELTS : IELTS Test Report Form

② 7 月期募集及び 2 月期募集において、筆記試験：語学科目（英語）を廃止し、TOEFL iBT®テスト、TOEFL ITP®テスト又は IELTS の成績を点数に換算します。

< 令和 7 (2025) 年度 >

選抜方法

入学者の選抜は、出願書類の審査、筆記試験及び口述試験の成績を基に総合的に判定する。ただし、口述試験において一部評価項目で著しく低い評価があった場合、不合格とする。

7 月期募集

(1) 筆記試験（専門科目（人文社会科学系）及び語学科目（英語））

本研究科で学ぶ上で必要とされる人文社会科学系の専門分野及び語学科目（英語）に関する基礎学力を問うため、筆記試験を行う。

なお、筆記試験：語学科目（英語）について、下記のいずれかの受験方法を選択すること。

- ① 本研究科実施の筆記試験：語学科目（英語）を受験する。
- ② TOEFL iBT, TOEFL ITP 又は IELTS のいずれかのスコア（成績）の提出により、本研究科実施の筆記試験：語学科目（英語）を受験しない。
- ③ TOEFL iBT, TOEFL ITP 又は IELTS のいずれかのスコア（成績）を提出し、かつ筆記試験：語学科目（英語）を受験する。この場合、最も高い評価点を採用する。

※ TOEFL iBT 83 点以上、TOEFL ITP 550 点以上又は IELTS 6.5 以上のいずれかのスコアを有する者で出願時に申請した者は、筆記試験：語学科目（英語）の得点を満点として取り扱う。ただし、TOEFL iBT 61 点未満、TOEFL ITP 530 点未満又は IELTS 5.5 未満のいずれのスコアについては、語学科目（英語）の得点化は行わない。

(2) 口述試験（面接）

研究計画書等の提出された書類に基づき、受験者に研究テーマや研究計画の概要等を説明（プレゼンテーション）させた後、質疑応答を行い、専門分野に関する基礎的知識や問題意識・意欲、人文社会科学系の実践の場で必要とされるコミュニケーション能力や協調性等の資質を日本語及び英語で審査する。

選抜方法	試験科目	配点
筆記試験	専門科目（人文社会科学系）	50
	語学科目（英語）	50
口述試験	面接（日本語及び英語）	100

2月期募集

(1) 筆記試験（語学科目（英語））

本研究科で学ぶ上で必要とされる語学科目（英語）に関する基礎学力を問うため、筆記試験を行う。

なお、筆記試験：語学科目（英語）については、下記のいずれかの受験方法を選択すること。

- ① 本研究科実施の筆記試験：語学科目（英語）を受験する。
- ② TOEFL iBT, TOEFL ITP 又は IELTS のいずれかのスコア（成績）の提出により、本研究科実施の筆記試験：語学科目（英語）を受験しない。
- ③ TOEFL iBT, TOEFL ITP 又は IELTS のいずれかのスコア（成績）を提出し、かつ本研究科実施の筆記試験：語学科目（英語）を受験する。この場合、最も高い評価点を採用する。

※TOEFL iBT 83 点以上, TOEFL ITP 550 点以上又は IELTS 6.5 以上のいずれかのスコアを有する者で出願時に申請した者は、筆記試験：語学科目（英語）の得点を満点として取り扱う。ただし、TOEFL iBT 61 点未満, TOEFL ITP 530 点未満又は IELTS 5.5 未満のいずれのスコアについては、語学科目（英語）の得点化は行わない。

(2) 口述試験（面接）

研究計画書及び卒業論文等の提出された書類に基づき、受験者に研究テーマや研究計画の概要等を説明（プレゼンテーション）させた後、質疑応答を行い、専門分野に関する基礎的知識や問題意識・意欲、人文社会科学系の実践の場で必要とされるコミュニケーション能力や協調性等の資質を日本語及び英語で審査する。

選抜方法	試験科目	配点
筆記試験	語学科目（英語）	50
口述試験	面接（日本語及び英語）	150



<令和8（2026）年度>

選抜方法

入学者の選抜は、出願書類の審査、筆記試験（7月期のみ）及び口述試験の成績を基に総合的に判定する。ただし、口述試験において一部評価項目で著しく低い評価があった場合、不合格とする。

7月期募集

(1) TOEFL iBT®テスト, TOEFL ITP®テスト, 又はIELTSの成績を点数に換算する。

(2) 筆記試験（専門科目（人文社会科学系））

本研究科で学ぶ上で必要とされる人文社会科学系の専門分野に関する基礎学力を問うため、筆記試験を行う。

(3) 口述試験（面接）

研究計画書等の提出された書類に基づき、受験者に研究テーマや研究計画の概要等を説明（プレゼンテーション）させた後、質疑応答を行い、専門分野に関する基礎的知識や問題意識・意欲、人文社会科学系の実践の場で必要とされるコミュニケーション能力や協調性等の資質を日本語及び英語で審査する。

選抜方法	試験科目	配点
TOEFL iBT®テスト, TOEFL ITP®テスト, 又はIELTSの成績		50
筆記試験	専門科目（人文社会科学系）	50
口述試験	面接（日本語及び英語）	100

2月期募集

- (1) TOEFL iBT®テスト, TOEFL ITP®テスト, 又はIELTSの成績を点数に換算する。
- (2) 口述試験（面接）

研究計画書及び卒業論文等の提出された書類に基づき、受験者に研究テーマや研究計画の概要等を説明（プレゼンテーション）させた後、質疑応答を行い、専門分野に関する基礎的知識や問題意識・意欲、人文社会科学系の実践の場で必要とされるコミュニケーション能力や協調性等の資質を日本語及び英語で審査する。

選抜方法	試験科目	配点
TOEFL iBT®テスト, TOEFL ITP®テスト, 又はIELTSの成績		50
口述試験	面接（日本語及び英語）	150

（２）【外国人留学生入試】

- ① 7月期募集及び2月期募集のA選抜において、日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書（以下、「成績証明書」という）の提出を必須とします。

2月期募集のB選抜において、TOEFL iBT®テスト, TOEFL ITP®テスト又はIELTSの成績証明書の提出を必須とします。

<令和7（2025）年度>

出願書類等	備考
日本語能力試験の合格証明書	日本語能力試験の合格証明書を持っている場合は、その写しを提出すること。 ※面接の際の参考資料として使用します。
TOEFL iBT®テスト, TOEFL ITP®テスト 又はIELTSの成績 証明書 〔2月期受験者のみ〕 〔6. 選抜方法の英語 民間試験のスコア レポート利用者のみ〕	出願時から過去2年以内に受験したものの原本に限る。複数の成績証明書を提出した場合は、点数の高い方を採用する。原本は試験終了後に返却する。 なお、成績証明書等の種類は下記のとおりである。 TOEFL iBT®テスト：Examinee Score Report又はTest Taker Score Report ※Test Date スコアに限る。 ※TOEFL iBT® Special Home Edition のスコアレポートの利用を認める。 TOEFL ITP®テスト：TOEFL ITP Score Report ※TOEFL ITP® Plus for China のスコアレポートの利用を認める（Vericant® Video Speaking Interview は利用しない）。 IELTS：IELTS Test Report Form



＜令和 8（2026）年度＞

出 願 書 類 等	備 考
日本語能力試験の成績証明書	出願時から過去2年以内に受験したものの原本に限る。 原本は試験終了後に返却する。
TOEFL iBT®テスト, TOEFL ITP®テスト 又は IELTS の成績 証明書	出願時から過去2年以内に受験したものの原本に限る。 複数の成績証明書を提出した場合は、換算後の点数の高い方を採用する。 原本は試験終了後に返却する。 なお、成績証明書等の種類は下記のとおりである。 TOEFL iBT®テスト：Examinee Score Report 又は Test Taker Score Report ※Test Date スコアに限る。 ※TOEFL iBT® Special Home Edition のスコアレポート の利用を認める。 TOEFL ITP®テスト：TOEFL ITP Score Report ※TOEFL ITP® Plus for China のスコアレポートの利用を 認める（Vericant® Video Speaking Interview は利用し ない）。 IELTS：IELTS Test Report Form

② 7 月期募集及び 2 月期募集の A 選抜において、筆記試験：語学科目（日本語）を廃止し、日本語能力試験の成績を点数に換算します。

2 月期募集の B 選抜において、筆記試験：語学科目（英語）を廃止し、TOEFL iBT®テスト、TOEFL ITP®テスト又は IELTS の成績を点数に換算します。

＜令和 7（2025）年度＞

選抜方法

入学者の選抜は、出願書類の審査、筆記試験及び口述試験の成績を基に総合的に判定する。ただし、口述試験において一部評価項目で著しく低い評価があった場合、不合格とする。

7 月期募集

(1) 筆記試験（専門科目（人文社会科学系）及び語学科目（日本語））

本研究科で学ぶ上で必要とされる人文社会科学系の専門分野及び日本語に関する基礎学力を問うため、筆記試験を行う。

(2) 口述試験（面接）

研究計画書等の提出された書類に基づき、受験者に研究テーマや研究計画の概要等を説明（プレゼンテーション）させた後、質疑応答を行い、専門分野に関する基礎的知識や問題意識・意欲、人文社会科学系の実践の場で必要とされるコミュニケーション能力や協調性等の資質を日本語及び英語で審査する。

選抜方法	試験科目	配点
筆記試験	専門科目（人文社会科学系）	50
	語学科目（日本語）	50
口述試験	面接（日本語及び英語）	100

2月期募集 ※Ⅳ. 指導教員一覧及び主な研究テーマに掲載している英語のみで修了可能な受入指導教員を希望している志願者のみがB選抜を受験できる。

A選抜

(1) 筆記試験（語学科目（日本語））

本研究科で学ぶ上で必要とされる日本語に関する基礎学力を問うため、筆記試験を行う。

(2) 口述試験（面接）

研究計画書及び卒業論文等の提出された書類に基づき、受験者に研究テーマや研究計画の概要等を説明（プレゼンテーション）させた後、質疑応答を行い、専門分野に関する基礎的知識や問題意識・意欲、人文社会科学系の実践の場で必要とされるコミュニケーション能力や協調性等の資質を日本語で審査する。

選抜方法	試験科目	配点
筆記試験	語学科目（日本語）	50
口述試験	面接（日本語）	150

B選抜

(1) 筆記試験（語学科目（英語））

本研究科で学ぶ上で必要とされる英語に関する基礎学力を問うため、筆記試験を行う。

なお、筆記試験：語学科目（英語）については、下記のいずれかの受験方法を選択すること。

- ① 本研究科実施の筆記試験：語学科目（英語）を受験する。
- ② TOEFL iBT, TOEFL ITP 又は IELTS のいずれかのスコア（成績）の提出により、本研究科実施の筆記試験：語学科目（英語）を受験しない。
- ③ TOEFL iBT, TOEFL ITP 又は IELTS のいずれかのスコア（成績）を提出し、かつ本研究科実施の筆記試験：語学科目（英語）を受験する。この場合、最も高い評価点を採用する。

※TOEFL iBT 83点以上、TOEFL ITP 550点以上又はIELTS 6.5以上のいずれかのスコアを有する者で出願時に申請した者は、筆記試験：語学科目（英語）の得点を満点として取り扱う。ただし、TOEFL iBT 61点未満、TOEFL ITP 530点未満又はIELTS 5.5未満のいずれのスコアについては、筆記試験：語学科目（英語）の得点化は行わない。

(2) 口述試験（面接）

研究計画書及び卒業論文等の提出された書類に基づき、受験者に研究テーマや研究計画の概要等を説明（プレゼンテーション）させた後、質疑応答を行い、専門分野に関する基礎的知識や問題意識・意欲、人文社会科学系の実践の場で必要とされるコミュニケーション能力や協調性等の資質を英語で審査する。

選抜方法	試験科目	配点
筆記試験	語学科目（英語）	50
口述試験	面接（英語）	150



<令和8（2026）年度>

選抜方法

入学者の選抜は、出願書類の審査、筆記試験（7月期のみ）及び口述試験の成績を基に総合的に判定する。ただし、口述試験において一部評価項目で著しく低い評価があった場合、不合格とする。

7月期募集

- (1) 日本語能力試験の成績を点数に換算する。

(2) 筆記試験（専門科目（人文社会科学系））

本研究科で学ぶ上で必要とされる人文社会科学系の専門分野に関する基礎学力を問うため、筆記試験を行う。

(3) 口述試験（面接）

研究計画書等の提出された書類に基づき、受験者に研究テーマや研究計画の概要等を説明（プレゼンテーション）させた後、質疑応答を行い、専門分野に関する基礎的知識や問題意識・意欲、人文社会科学系の実践の場で必要とされるコミュニケーション能力や協調性等の資質を日本語及び英語で審査する。

選抜方法	試験科目	配点
日本語能力試験の成績		50
筆記試験	専門科目（人文社会科学系）	50
口述試験	面接（日本語及び英語）	100

2月期募集 ※Ⅳ. 指導教員一覧及び主な研究テーマに掲載している英語のみで修了可能な受入指導教員を希望している志願者のみがB選抜を受験できる。

A選抜

(1) 日本語能力試験の成績を点数に換算する。

(2) 口述試験（面接）

研究計画書及び卒業論文等の提出された書類に基づき、受験者に研究テーマや研究計画の概要等を説明（プレゼンテーション）させた後、質疑応答を行い、専門分野に関する基礎的知識や問題意識・意欲、人文社会科学系の実践の場で必要とされるコミュニケーション能力や協調性等の資質を日本語で審査する。

選抜方法	試験科目	配点
日本語能力試験の成績		50
口述試験	面接（日本語）	150

B選抜

(1) TOEFL iBT®テスト, TOEFL ITP®テスト, 又はIELTSの成績を点数に換算する。

(2) 口述試験（面接）

研究計画書及び卒業論文等の提出された書類に基づき、受験者に研究テーマや研究計画の概要等を説明（プレゼンテーション）させた後、質疑応答を行い、専門分野に関する基礎的知識や問題意識・意欲、人文社会科学系の実践の場で必要とされるコミュニケーション能力や協調性等の資質を英語で審査する。

選抜方法	試験科目	配点
TOEFL iBT®テスト, TOEFL ITP®テスト又はIELTSの成績		50
口述試験	面接（英語）	150